

事務事業名	北関東自動車道沿線自治体交流参画事業				担当	総務部 企画課 計画係		
政策名	G	効率的で市民にわかりやすいまちづくり			電話番号			
施策名	03	広域行政・地域連携の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成13 年度～）		
予算科目	1.一般会計	8.土木費	4	4		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	北関東三県（群馬・栃木・茨城）を結び、北関東自動車道の早期完成を推進するため、三県の沿線自治体、関係官庁、東日本高速道路株式会社と連携をして、全線開通時の経済・文化・生活・医療・福祉の限らない恩恵を最大限に発揮できるよう、現時点から交流を図り基礎づくりをはじめ、内外に向けて、積極的に、強力的に、情報発信を進めるものである。 ・参画自治体：栃木県、茨城県、群馬県、宇都宮市、佐野市、真岡市、笠間市、大洗町、桜川市、太田市、桐生市、ひたちなか市、壬生町、3件の高速道路株式会社、三県の道路管理事務所。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 22年度実績 共通パンフレット作成による沿線自治体沿線住民の意識の高揚や、各自治体でのイベントへの相互乗り入れ（自治体のPR活動）を実施。 23年度計画 上記に加え、建設促進の要望活動を予定。 沿線自治体の交流については、自治体PRのもと観光交流にて、企画課を中心に活動を予定。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア：参画関係自治体数		15	16				
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 北関東三県の住民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア：北関東三県の住民数		6999000	6981000				
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 高速道路ネットワークによって生まれるPR意識の高揚や、それに伴う建設促進への気運の盛り上がり。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア：イベント交流に参加する自治体数		10	10				
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 広域行政・地域連携により、対象住民に効率的かつ利便性ある行政サービスの提供を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
	ア：イベント参加人数		302000	330000				
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	300	300	0	0
	事業費計(A)		千円	300	300	0	0	
	人件費		正規職員従事人数	人	4	4	0	0
			延べ業務時間	時間	80	80	0	0
			人件費計(B)	千円	335	334	0	0
			トータルコスト(A)+(B)	千円	635	634	0	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	全国的に高速道路ネットワークの早期完成が望まれる中、高速道路建設への改革が推進され、北関東自動車道建設促進にも影響される状況の下、北関東自動車道の重要性和沿線住民の熱い思いの活動を展開することにより、中央に強力にPRしようとするもの。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	北関東自動車道の建設促進活動や整備の進捗に合わせて、沿線自治体の相互交流が必要となってきた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	共通パンフレット配布によるPRが好評である。毎年11月23日に開催される大産業祭に、大洗町、桜川市、佐野市、太田市、桐生市の参加を得、県高速道路対策室や東日本高速道路株式会社のPRブース設置によって、市民に対し、参加自治体のイメージアップと北関東自動車道のPRを図り、効果的であった。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 北関東自動車道の建設促進の沿線自治体等の交流に直結する。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 北関東自動車道が整備中であり、今後も沿線自治体等の交流が必要である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 北関東自動車道が整備中であるため、参画事業の拡大縮小の余地はない。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市長は、沿線有志懇談会の会長として沿線自治体の積極的な参加を呼びかけており、現段階での参加交流が有効である。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 沿線自治体との連携、交流に影響が大きい。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある パンフレット作成や参加経費等の最小限の経費で運営しており、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 交流事業に必要な最低限の人件費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 相互で取り決めをした負担金額であるから。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							